

令和8年度

國學院大學

オープンカレッジ

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

國學院大學オープンカレッジ 受講料改定のお知らせ

平素よりオープンカレッジをご利用いただき、誠にありがとうございます。

國學院大學エクステンションセンターが主催するオープンカレッジは、國學院大學の伝統と実績に基づく学問を広く一般に開放し、豊かな生涯学習の場を提供することを目的として、平成4(1992)年にスタートいたしました。社会貢献を目的とする事業であることから、入会金や受講料は、消費増税による加算を除き開講から33年間にわたり本体価格を据え置いてまいりました(書道講座のみ、令和5年度に本体価格の引き上げを行いました)。一方で、かつて4年ごとに更新料の支払いを必要とした会員資格の更新制度は令和2年に廃止するなど、受講者の皆様の負担軽減に努めてまいりました。

しかしながら、施設維持管理費をはじめとする近年の諸経費の高騰により、講座運営にかかるさまざまな費用の上昇が続く中、今後も健全な講座運営を持続するためには、現行の受講料をこれ以上維持することが困難な状況となってきました。

つきましては、令和8年(2026)年度より受講料価格、及び割引制度の改定を行うこととなりました。受講者の皆様にはご負担をおかけすることとなりますが、質の高い講座の実施・継続に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(具体的な受講料価格は各講座のページを、割引制度については5ページをご覧ください)

令和8年2月

國學院大學エクステンションセンター

國學院大學 オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学問等を問わずすべての方に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年(1992)に7講座で産声を上げました。皆様に支えられ、これまで多くの方々にご受講いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度は6つの新規・復活講座を含む全29講座をすべて対面で開講いたします。

受講者の皆様にとって、本学のオープンカレッジが豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

建学の精神

國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道徳の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顕義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(企画課)におきまして、①受講手続き、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡、および手続き、③オープンカレッジ開催施設、設備利用に関する管理、連絡、および手続き、④受講者本人に送付する各種書類の発送、およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンター(企画課)より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」と言います)において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(企画課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断する場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

開講講座(全29講座)

申込方法については28ページをご参照ください。

申込締切：3月18日(水)



目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内	4
オープンカレッジの受講にあたって	6
オープンカレッジFAQ	7

◆対面講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	出雲大社の歴史 ー神代から現代までたどるー	西岡 和彦	10	通年	8
02	『古事記』上巻を読む ー禊・三貴子の誕生・誓約ー	渡邊 卓	10	通年	8
03	神道考古学	深澤 太郎	10	通年	9
04	日本の中・近世遺跡と博物館めぐりの旅	池田 榮史	10	通年	9
05	日本史の中の「国学」 ー通史で理解する	松本 久史	5	前期	10
06	日本語学の世界	吉田 永弘	10	通年	10
07	万葉古代学アラカルト	上野 誠	5	通年	11
08	万葉集を読む ー巻五を読み直すー	土佐 秀里	10	通年	11
09	源氏物語の巻々を読む ー「柏木」巻～「竹河」巻ー	竹内 正彦	10	通年	12
10	『源氏物語』全講(3)	小田 勝	10	通年	12
11	古典和歌入門 ー季節の歌を読むー	荒木 優也	5	通年	13
12	能と文学20 ー古典文学から能へー	岩崎 雅彦	10	通年	13
13	松尾芭蕉の紀行文を読む ー『嵯峨日記』その他ー	中村 正明	10	通年	14
14	文学の風景 ー〈憧れ〉の変幻ー	岡崎 直也	5	前期	14
15	動物と近代文学	安西 晋二	5	前期	15
16	最新！日本書道史 ー古代・近世・文房具ー	橋本 貴朗 他	10	通年	15
17	古典と民俗学6	大石 泰夫 他	10	通年	16
18	歴史の中の日本と韓国 ー円仁と張宝高の交流と日本ー	山崎 雅稔	5	後期	17
19	吾妻鏡を読む	高橋 秀樹	10	通年	17
20	秀吉兄弟と豊臣政権	矢部健太郎	10	通年	18
21	江戸時代の古文書を読む	根岸 茂夫	10	通年	18
22	図書館の日本史 ー語り部から江戸の文庫までー	新藤 透	5	前期	19
23	明治時代をふりかえる	坂本 一登	10	通年	19
24	國學院の中国学 ー漢文古典を学ぶー	浅野 春二 他	5	後期	20
25	『論語』を読む	石本 道明	10	通年	21
26	世界の中の日本 ー緊迫する国際情勢を読み解くー	久保田るり子	10	通年	21

◆実技講座

実技講座「書道」の受講にあたって	22
------------------	----

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
27	仮名(短期集中)〈初級〉 ー仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)ー	橋本 貴朗	5	前期	22
28	仮名(一)〈初級〉 ー仮名書道に親しむ(連綿・臨書)ー	橋本 貴朗	10	前期	23
29	仮名(二)〈中級〉 ー升色紙ー	橋本 貴朗	10	後期	23

◆特別講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	日本神道史 ― 祭祀思想史からみた神話と歴史の循環体系―	岡田 莊司	5	通年	… 24
02	柳田國男の民俗学と折口信夫 ― 誤読と誤解から理解へ、そして継承発展へ―	新谷 尚紀	10	通年	… 24
●エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介 …… 26					
●國學院大學博物館のご紹介 …… 27					
●「國學院大學萬葉の花の会」のご紹介 …… 27					
●オープンカレッジ申し込み方法 …… 28					
●申込記入例 …… 30					
●「受講申込書」(FAX用)					
●「受講申込書」(ハガキ)					

講座内容の見方

01 出雲大社の歴史 ― 神代から現代までたどる ―

講師
西岡 和彦
國學院大學
教授・博士(神道学)
にしおか かずひこ
専門分野 神道思想史・
神道神学

講座内容

本講座は、一昨年度からスタートしました。一昨年度は、記紀や『出雲国風土記』などを通じて、出雲大社を概観しました。昨年度は、第1回から第7回までの御遷宮をお話ししました。今年度の講座では、第8回から第14回の御遷宮あたりまでを、10回にわたってゆっくり見てみたいと思います。

出雲大社社務所から発行されている『出雲大社由緒略記』によりますと、出雲大社は、平成の大遷宮をあわせ、計29回の御遷宮を行いました。本講座では、神代の伝承からこの29回の御遷宮を通して、出雲大社の歴史を概観したいと思います。

今年度の特徴を簡単に述べますと、
第7回の御遷宮以降、院政期に入りました。第7回の御遷宮は「寄木造営」と呼ばれた有名な御遷宮です。前年度は、この御遷宮について、2回にわたり説明致しましたが、今年度も複数回にわたり説明するところのあることが予想されます。

たとえば、第8回の御遷宮では、出雲大社は「天下無双の大夏、國中第一の靈神」と謳われ、第10回の御遷宮の年に、都の有名な歌人寂蓮法師が出雲大社を参詣し、高層の出雲大社を拝見して、「雲に分け入る千木の片そぎ」と歌いました。また、第12回の宝治、中世最後の正殿式遷宮であり、これ以降、寛文度の御造営まで仮殿式遷宮になって、この御遷宮が、近世以降の正殿式遷宮のモデルにもなりました。かつて出雲大社に建てられた大きな柱は、この時のものとされています。よって、こうした御遷宮については、複数回にわたり、説明することになる事と存じます。また、第14回の御遷宮は、後醍醐天皇の時に斎行されたものですが、天皇はその後、隠岐へ奉遷します。しかし、隠岐から脱出して建武の中興を起こしました。天皇の京都還遷時に、出雲大社は宝剣を献上しています。その時の説明もしたいと存じます。

到達目標

- 出雲大社の御遷宮を通して、神社の消長がさまざまな原因にあることを見ることができる。

木曜日 14:30~16:00

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	12日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人数職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

本学HPの教員紹介ページへアクセスできる二次元コードです。



テキスト 資料を配付します

参考書

そのつど申し上げますが、出雲大社社務所から発行されています『出雲大社由緒略記』を参考にしています。

ご自身が該当する
会員区分の受講料をご確認ください。

受講にあたり、**必須**となります。

講座開始までにご用意ください。講座の際に講師から配付される場合と、事前に書籍等をご用意いただく場合がございます。

テキスト欄に書籍が記載されている場合は、講座開始までにご自身でご用意ください。

※大学生協(渋谷)でも、一部販売しております。

國學院大學オープンカレッジのご案内

オープンカレッジ講座について

- すべて渋谷キャンパスで開講いたします。
- 講座は通年または半期で完結となります。
- 大学、講師の都合等により講座を中止することがあります。
- 受講者数が10人に満たない場合は、講座を中止することがあります。



「『古事記』上巻を読む」講座風景(令和7年度)



「仮名(二)」講座の様子(令和7年度)

◆ 会員特典 ◆

オープンカレッジは会員制を設けており、初めて受講する際は申し込み時に会員登録を行っていただきます。(有効期限はありません)

オープンカレッジ会員にご登録いただくと、**学びをサポートする様々な特典**がございます。

1. エクステンションセンター主催の講座をご案内いたします。
2. 國學院大學図書館の閲覧利用が可能となります。 ※貸出利用は出来ません。
3. 次年度オープンカレッジパンフレットを請求なしで郵送いたします。

※5年以内にご受講いただいた方のみ

【國學院大學図書館の利用方法】

「オープンカレッジ会員証」と「受講証」の二点を図書館へ持参し、所定の手続きを行ってください。

※ご利用は受講年度に限ります。

※利用の詳細は、國學院大學図書館へお問い合わせください。

■國學院大學図書館 (TEL: 03-5466-0159)

4. 大学生協で書籍や文具が割引で購入できます。

割引利用の際は、「オープンカレッジ会員証」と「受講証」の二点をご提示ください。

※生協の販売物については、大学生協へお問い合わせください。

■國學院大學生協 渋谷キャンパス

3号館地下1階 (TEL: 03-5466-0166)



生協書籍売場

受講料の割引制度について

令和8年度より、全会員区分の受講料を改定いたしました。

会員区分によって受講料が異なります。(※実技講座(書道)を除く。)

各区分の金額は下記表と、28・29ページの「オープンカレッジ申し込み方法」をご覧ください。

会員区分一覧表

		1	2	3	4	5	6	7
会員区分		一般	系列校在学生、系列校在学生父母※	本学の卒業生	若木育成会会員	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)	渋谷区・横浜市青葉区在住者	他校の学生(高校・大学・大学院)
入会金		¥4,000	¥3,000	¥3,000	¥3,000	無料	¥3,000	¥3,000
受講料	通常科目(5回)	¥13,000	¥9,000	¥9,000	¥9,000	¥6,000	¥9,000	¥13,000
	通常科目(10回)	¥26,000	¥18,000	¥18,000	¥18,000	¥12,000	¥18,000	¥26,000
	書道(5回)	¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥15,000
	書道(10回)	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000	¥30,000

※1 新料金は令和8年度の開講講座から適用します。

※2 系列校は「國學院久我山中学・高校」「國學院高校」「國學院大學付属幼稚園」「國學院幼稚園」「國學院大學北海道短期大学部」を指します。

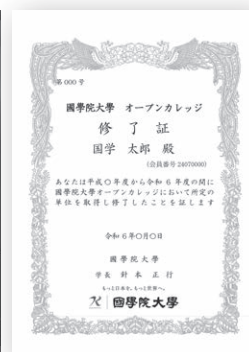
会員紹介制度 是非ご活用ください！

新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が講座を受講された場合には、紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。

単位制度・修了について

- 國學院大學オープンカレッジすべての講座に、独自の単位が設定されています。
- 単位数は各講座のページにある単位数をご参照ください。
- 単位取得要件は、受講講座への3分の2以上の出席(5回講座 3回、10回講座 7回)となります。
 - 累積取得単位が32単位に達した方には、「國學院大學オープンカレッジ修了証授与式」にご招待いたします。修了証授与式では、修了証と併せて國學院大學オリジナルグッズをお渡しいたします。
- 修了後も継続してご受講いただけます。

「令和6年度 修了証授与式」の様子
(國學院大學 若木タワー18階
有栖川宮記念ホール)



オープンカレッジの受講にあたって

※ご受講前に必ずご一読ください

申し込み・受講のキャンセルについて

- 受講申し込み後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。

休講の場合

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則補講を行います。
- 休講・補講となった場合はエクステンションセンターから連絡させていただきます。お申し込みの際に、ご連絡の取りやすい電話番号・メールアドレスをお知らせください。
- 休講・補講のご連絡は、講座開始の直前になってしまう場合がございます。予めご了承ください。

欠席された場合

- 欠席のご連絡は必要ありません。
- 各講座のレジュメは、講座開始前と終了後に各講座の会場にいるスタッフが持参しております。お休みされた日のレジュメをご希望の場合は、スタッフへ直接お声がけください。

その他注意事項

- 各講座の教室は基本的に開始30分前より開室いたします。開室時間に合わせてご来校ください。
- 申し込み締切日以降でも、定員に満たない講座は開講初日の10日前まで申し込み受付をいたします。各講座の空き状況は、本学HP (<https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p1>) にて随時更新される「申し込み状況確認ページ」をご確認ください。
- 住所等に変更があった場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 講座中の投影資料の撮影、録画・録音はご遠慮ください。
- 学内ネットワーク (Wi-Fi) は使用できません。
- 大学構内は禁煙です。
- 駐車場がありませんので、自動車・バイク・自転車での来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 前の講座が終わるまで教室に入らないでください。
- 講師やほかの受講者、または本学に対し不快・迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります。(教室からの退出や、オープンカレッジ退会をお願いすることがあります)
- レジュメの郵送は行っておりません。
- 個人情報保護の観点から、講師や会員の住所・連絡先をお教えすることはできません。
- 地震等の災害時は、机の下に潜って身を守り、指示があるまでその場から動かないでください。
- 複数の講座をお申し込みいただいた場合、開講日程が一部重複していても、補講・録画等の特別な対応は致しておりません。予めご了承ください。

オープンカレッジFAQ

お困りの際は
こちらのページを
ご覧ください!!

◎申し込みについて

Q1. 久しぶりに申し込みたいのですが、入会金は必要ですか？

A 令和2年度よりオープンカレッジ会員の更新制度を廃止したため、一度ご入会いただいた方は、初年度以降入会金のお支払いは必要ありません。入会状況の確認については、エクステンションセンターへお問い合わせください。

Q2. 添付書類の「学生証の写し」について、令和8年度有効の学生証が手元に届いていません。どうしたらいいですか？

A お送りいただくお申込書に、「添付書類は有効なものが届き次第お送りいたします。」などメモをしていただき、令和8年度より有効の学生証がお手元に届き次第、エクステンションセンターへ写しをご提出ください。

Q3. 申し込み完了の連絡はありますか？

A 申込書・入金両方が確認でき次第、申し込み完了のご連絡として、「受講証」および「オープンカレッジ受講に関するご案内」を郵送でお送りいたします。令和8年度より新規にお申し込みいただいた方には、「会員証」を併せてお送りいたします。

Q4. 入金はいつのタイミングで行えばいいですか？

A お申込書をエクステンションセンターへお送りいただいた後、直ちにご入金ください。
なお、入金確認ができた時点でお申し込みが完了となります。定員に達してしまう講座もございますので、お早めにご入金をお願いいたします。

Q5. 申込締切日を過ぎてからでも申し込みはできますか？

A 定員に達していない場合は、開講の10日前までお申し込みいただけます。
すでに開講している講座の途中申し込みは受け付けておりません。

Q6. 開講の日程が被ってしまっている講座を申し込んだ場合、何か対応はありますか？

A 一部日程が被ってしまっている講座をお申し込みいただいても、特別な対応は致しておりません。
お申し込みの前に、講座日程のご確認をおねがいいたします。

◎受講について

Q1. 受講にあたって事前に用意するものはありますか？

A テキストが指定されている場合は、購入が必須となります。指定されたテキストは、本学生協(TEL:03-5466-0166)でご購入いただけます。
在庫状況、営業時間等の詳細は、生協へ直接お問い合わせください。

Q2. 会員証・受講証は毎回受付で提示しますか？

A 受付での提示は必要ございません。万が一出席簿にお名前がない場合や別途受講の確認が必要なタイミングでご提示をお願いする場合がございますので、ご受講の際はお持ちいただきますようお願いいたします。

Q3. 講座を欠席する場合、連絡は必要ですか？

A 欠席にあたって、エクステンションセンターへのご連絡は必要ございません。
欠席された回の資料は、後日お渡しすることができます。各講座の教室にいるスタッフが各回の資料を持っていますので、直接お声がけください。

Q4. 自転車等で通うことは可能ですか？

A 大学構内には、駐車場及び駐輪場の用意はございません。また、会場前の歩道での路上駐車も禁止されていますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

Q5. 大学の図書館を利用するにはどのような手続きが必要ですか？

A 図書館に直接「オープンカレッジ会員証」と当該年度の「受講証」をお持ちの上、受付の方に「オープンカレッジでの利用です」とお伝えください。

Q6. 教室に忘れ物をしてしまった場合はどこに問い合わせをすればよいですか？

A エクステンションセンターへご連絡ください。落とし物を預かっている部署(渋谷キャンパス若木タワー3階 学生生活課)をご案内いたします。

Q7. 会員証・受講証を紛失した場合はどこに問い合わせをすればよいですか？

A エクステンションセンターへご連絡ください。再発行の手続きを行います。

Q8. 教室は何時から空いていますか？

A 開講時間の30分前より開室いたします。
授業等により使用されている場合は、10分前より入室が可能ですが、終了するまで入室はご遠慮ください。

Q9. 配布資料は何部までもらえますか？

A 配布資料につきまして、お一人様一部ずつのお渡しをしております。
欠席の方へのお預かりとしてのお渡しも出来かねますので、何卒ご了承ください。

Q10. 休講の連絡はいつ来ますか？

A 担当講師の急病等により、直前のご連絡となってしまう場合がございます。
緊急のご連絡先として、日頃よりお使いいただいている電話番号とメールアドレスをお申込書にご記載ください。

Q11. 大学内のネットワーク(Wi-Fi)は利用できますか？

A 本学学生・大学関係者以外の方は、大学内ネットワーク(Wi-Fi)の利用はできません。予めご了承ください。

問合せ先

國學院大學エクステンションセンター
(渋谷キャンパス若木タワー3 階企画課内)
〈TEL〉03-5466-0270
〈e-mail〉jigyoku@kokugakuin.ac.jp

01

出雲大社の歴史 ―神代から現代までたどる―

木曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
教授・博士(神道学)
にしおか かずひこ
西岡 和彦
専門分野 神道思想史・
神道神学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、一昨年度からスタートしました。一昨年度は、記紀や『出雲国風土記』などを通じて、出雲大社を概観しました。昨年度は、第1回から第7回までの御遷宮をお話ししました。今年度の講座では、第8回から第14回の御遷宮あたりまでを、10回にわたってゆっくり見てみたいと思います。

出雲大社社務所から発行されている『出雲大社由緒略記』によりますと、出雲大社は、平成の大遷宮をあわせ、計29回の御遷宮を行いました。本講座では、神代の伝承からこの29回の御遷宮を通して、出雲大社の歴史を概観したいと思います。

今年度の特徴を簡単に述べますと、

第7回の御遷宮以降、院政期に入りました。第7回の御遷宮は「寄木造営」と呼ばれた有名な御遷宮です。前年度は、この御遷宮について、2回にわたり説明致しましたが、今年度も複数回にわたり説明するところのあることが予想されます。

たとえば、第8回の御遷宮では、出雲大社は「天下無双の大夏、国中第一の霊神」と謳われた時であり、第10回の御遷宮の年に、都の有名な歌人寂蓮法師が出雲大社を参詣し、高層の出雲大社御本殿を拝見して、「雲に分け入る千木の片そぎ」と歌いました。また、第12回の宝治度の御遷宮は、中世最後の正殿式遷宮であり、これ以降、寛文度の御造営まで仮殿式遷宮になります。そして、この御遷宮が、近世以降の正殿式遷宮のモデルにもなりました。かつて出雲大社境内から発掘された大きな柱は、この時のものとされています。よって、こうした御遷宮については、複数回にわたり、説明することになる事と存じます。また、第14回の御遷宮は、後醍醐天皇の時に斎行されたものですが、天皇はその後、隠岐へ奉遷します。しかし、隠岐から脱出して建武の中興を起こしました。天皇の京都還遷時に、出雲大社は宝剣を献上しています。その時の説明もしたいと存じます。

到達目標

- ・ 出雲大社の御遷宮を通して、神社の消長がさまざまな原因にあることを見ることができる。



テキスト 資料を配付します



参考書 そのつど申し上げますが、出雲大社社務所から発行されています『出雲大社由緒略記』を参考にしています。

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	12日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

02

『古事記』上巻を読む ―禊・三貴子の誕生・誓約―

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
准教授・博士(文学)
わたなべ たかし
渡邊 卓
専門分野 日本上代文学・
神道古典・国学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

『古事記』は、今から1300年以上前に編纂された、現存最古の古典作品です。『古事記』上巻は神々の物語です。今年度は、禊・三貴子の分治・誓約を読み進めます。いよいよ、高天原を代表する天照大御神の登場です。黄泉国から帰還した伊邪那岐命は、その穢れを払うために、笠紫の日向の橘の小門の阿波岐原で禊を行います。そのときに様々な神が生まれ、最後に天照大御神・月読命・建速須佐之男命の三柱の貴い神(三貴子)が誕生します。その後、『古事記』の物語は、天照大御神と須佐之男命を中心に展開していきます。今期の場面は出生する神も多く、神社の祭神として知られる神も含まれます。そのため、神名の解釈や神格も踏まえつつ、お話しして参ります。

本講座では『日本書紀』『万葉集』『風土記』などの他文献と比較しながら、『古事記』を読むことで『古事記』の特質を明らかにしていきます。ときには神道学や考古学の知見も活用して『古事記』が描く世界観を学んでいきます。『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、丁寧に講義を進めて参ります。『古事記』を読んだことがある方にも、深掘りの『古事記』をお伝えいたします。

到達目標

- ・ 古典に興味を持ち、『古事記』に親しみながら作品の特質や内容を理解することで、読み継がれる意義を説明することができる。

4月	28日
5月	12日、26日
6月	9日、23日
7月	7日
10月	6日、20日
11月	10日、24日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位



テキスト 『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,240円(本体価格)
※書店で取り扱いの無い場合は、大学生協にてお求めください

講師



國學院大學
教授
ふかさわ たろう
深澤 太郎

専門分野 考古学・
宗教考古学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

今年度のテーマは、「神社考古学」とする。そもそも「神道考古学」は、「神社考古学」の名ではじまった分野だ。「神道」の淵源を追及する上で有効な方法の一つは、まつりの場である「神社」の歴史的展開を辿っていくこと。とりわけ、「神社境内遺跡」という、創祀から今日に至る神社の歩みが把握し得る事例について考古学的な検討を行うことで、様々なパターンの神社史モデルを構築することができるであろう。講義の内容は、多少前後するかもしれないが、以下のような流れを考えている。

第1回	神社境内遺跡の研究－「神道」のはじまりを探る方法－
第2回	兵庫県保久良神社・和歌山県神倉神社－磐座と弥生時代の青銅器－
第3回	奈良県大神神社－山に坐す神－
第4回	三重県伊勢神宮－旅する神々と神体の祭祀－
第5回	島根県出雲大社－神祀りと社殿建築－
第6回	奈良県石上神宮－禁足地への神体埋納、神庫への神宝奉納－
第7回	静岡県三嶋大社・白濱神社・東京都富賀神社－噴火造島の神から武家の守護神へ－
第8回	石川県気多大社・熱海市多賀神社－小型青銅鏡の謎を探る－
第9回	神社になれなかった「祭祀遺跡」
第10回	まとめ－考古学からみた「神社」の歴史的展開－

到達目標

- 「神道」のはじまりを探る方法論と、複線的に発達した様々なパターンの神社史を理解する。

テキスト 資料を配付します

金曜日

12:50~14:20

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
7月	10日
10月	2日、16日、30日
11月	20日

受講料（会員区分）

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

対
面
講
座

講師



國學院大學
元教授
琉球大学名誉教授
いけだ よしふみ
池田 榮史

専門分野 日本考古学・
水中考古学・
博物館学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

日本には中・近世の遺跡とこれをテーマとした博物館やガイダンスルームが多くあります。今年度の授業では普段はなかなか訪ねることのない、ちょっと専門的で、しかしハマると面白い、日本各地の中・近世遺跡とこれをテーマとした博物館やガイダンスルームを取り上げ、受講生の皆さんをさまざまな遺跡とその歴史、そして博物館巡りの旅へ誘ってみたいと思います。取り上げてみようと思っている遺跡と博物館は下記の通りです。

(全てを紹介することはできないかもしれませんが)

- 1 北海道上ノ国町夷山遺跡とガイダンス施設
- 2 北海道松前町福山城（松前城）と資料館
- 3 岩手県平泉町柳ノ御所遺跡とガイダンスルーム及び平泉郷土資料館
- 4 福井県福井市一乗谷朝倉遺跡と一乗谷朝倉氏遺跡博物館
- 5 広島県福山市草戸千軒遺跡と広島県立歴史博物館
- 6 愛媛県今治市能島と村上海賊ミュージアム
- 7 福岡市元寇防塁と福岡市立博物館・福岡市埋蔵文化財センター
- 8 長崎県松浦市鷹島海底遺跡と松浦市立水中考古学研究センター
- 9 長崎県南島原市原城跡及び熊本県苓北町富岡城跡と天草キリシタン館
- 10 鹿児島県奄美市フワガネ遺跡と奄美博物館
- 11 鹿児島県喜界町城久遺跡群と喜界町埋蔵文化財センター
- 11 鹿児島県伊仙町カミヤキ古窯跡群と伊仙町歴史民俗資料館
- 13 沖縄県那覇市壺屋古窯跡群と壺屋焼物博物館
- 14 沖縄県竹富町竹富島の遺跡と喜宝院宝物館

取り扱う候補に挙げた遺跡や博物館は西日本に偏ったかもしれませんが、授業の進行と受講生の皆さんの構成を参考にしながら、変更することを考えています。

到達目標

- 受講生の皆さんが授業で取り上げた遺跡や博物館に行ってみたい、さらには実際に行ってみたという、感想をいただくことを目標にします。

テキスト 決まったテキストは用意しません

参考書 授業の際に関係する文献などを紹介します

木曜日

12:50~14:20

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	12日

受講料（会員区分）

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

講師



新

國學院大學
教授・博士(神道学)

まつもと ひさし
松本 久史

専門分野 近世・近代の神道史・
国学研究



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

國學院大學の名称の由来となっている「国学」とは、近世中期に発生した総合学と定義することができます。国学は古事記・日本書紀や万葉集をはじめとした日本の古典の実証的研究からスタートして、古代日本人の文化を解明することに努めたことにとどまらず、日本固有の精神への「復古」をも主張しました。従来、国学は本居宣長や平田篤胤等の主要人物の業績や思想を個別に取り上げて、それらを「学統」の系譜に配列して語っていくことが一般的でした。しかし、本講義では、最新の国学研究の成果に基づきつつ、時代を縦軸として、国学の発生から形成・確立、発展・展開の過程を「通史」として叙述することで、「日本史の中の国学」についての理解を深めていきたいと思います。

第1回	「国学の前提とその発生」近世前期の京坂の文化と契沖の登場
第2回	「国学の形成」荷田春満とその後継者たち
第3回	「国学の確立」賀茂真淵・本居宣長の「古道」発見
第4回	「国学の展開」平田篤胤と国学の普及
第5回	「国学の現代的意義」近代の国学と新国学の展開

到達目標

- ・日本史の出来事と主要な国学者が果たした役割との関係を理解できる
- ・時系列順で国学がどう展開・発展していったのかを把握できる
- ・国学が果たした日本史上の意義をわかりやすく説明できる

9月	29日
10月	13日、27日
11月	17日
12月	1日

受講料 (会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学学生、 系列校在学学生父母
3	9,000円	大学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	13,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

テキスト

資料を配付します

参考書

國學院大學日本文化研究所編 『歴史で読む国学』 ペリカン社 2,200円(本体価格)

講師



新

國學院大學
教授・博士(文学)

よしだ ながひろ
吉田 永弘

専門分野 国語学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

日本語学は、日本語をさまざまな観点から研究する学問分野です。本講座では、日本語の方言・文法・語彙・文字・音声に注目し、いくつかのトピックを取り上げながら日本語の観察方法を紹介していきます。日本語学の世界の広がりを感じていただけたらと思います。毎回の内容は以下を予定していますが、受講者の方の疑問点を解消しつつ進めていけたらと思います。

第1回	さまざまな日本語
第2回	方言を観察する
第3回	文法を観察する
第4回	語彙を観察する
第5回	敬語を観察する
第6回	文字を観察する(1) - 漢字に注目して -
第7回	文字を観察する(2) - 書き方に注目して -
第8回	音を観察する(1) - 母音に注目して -
第9回	音を観察する(2) - 子音に注目して -
第10回	仮名遣いを観察する

到達目標

- ・日本語学の考え方が理解できる。

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日
9月	25日
10月	9日、23日
11月	13日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学学生、 系列校在学学生父母
3	18,000円	大学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

テキスト

資料を配付します

参考書

講義時に紹介します

07

万葉古代学アラカルト

講師



國學院大學
教授(特別専任)・
奈良大学名誉教授・博士(文学)

上野 誠

専門分野 万葉文化論・芸能伝承論・折口信夫論・万葉挽歌の史的研究・日本古代文学研究



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

今年で4回目となります。輝かしい古代学の伝統のある國學院大學。一方、日進月歩で進む、古代学。私たちは、どう古代と向き合えばよいのか。『万葉集』を基本としながら、考古学、歴史学の新潮流について、じっくりとお話します。古代の官道がわかれば、万葉歌人が歩いた道がわかります。平城京から出土した木簡に記された文字が、古典研究の新視点を生み出すこともあります。万葉びとの生活と生活実感(モノとコト)。生活実感から生み出される表現(アヤ)。この二つを結びつけることができれば、私たちは、立体的に『万葉集』を読むことができます。「二次元の『万葉集』を三次元に」を合言葉に、情熱を込めて語ってゆきたいと思っています。いにしへの文に学び、伝統に学ぶ古代学アラカルトは、その時々々の古代学の新潮流を取り上げてゆきたいと思います。――。学びに遊び、遊びに学ぶの精神で、たのしい講義を心がけます。

到達目標

- ・日本の古代学の潮流を知り、そこから万葉歌の新研究を見渡すことができるようにする。

テキスト

資料を配付します

参考書

万葉集

火曜日

10:30~12:00

4月 21日

5月 19日

6月 16日

10月 13日

11月 17日

受講料(会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	13,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

対面講座

08

万葉集を読む 一巻五を読み直す

講師



國學院大學
教授・博士(文学)

土佐 秀里

専門分野 上代文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

昨年度に引き続いて万葉集の巻五を読んでゆきます。巻五は、大伴旅人と山上憶良の巻で、もはや老齢の二人が、九州の地で存分に「やりたい放題」をしている巻です。都や宮廷での縛りの多い作歌活動とは違って、何の制約もなく、表現したいことを表現する。その時彼らの念頭にあったのは、中国の詩人たちの創作活動でした。巻五の漢文と歌は、中国文学の影響を強く受けつつ、しかし独自の表現世界を開きました。それを少しずつ読んでゆきたいと思います。今年から初めて受講される方でもすぐに理解できるように話を進めるつもりですので、ご心配なくご参加ください。

第1回	鎮懐石の歌 813~814	第6回	吉田宜の書簡 864~867
第2回	梅花の宴(一) 815~822	第7回	松浦佐用姫の歌 868~875
第3回	梅花の宴(二) 823~839	第8回	書殿銭酒歌・敢布私懷歌 876~882
第4回	梅花の宴(三) 840~852	第9回	熊凝の歌 883~891
第5回	松浦河に遊ぶ 853~863	第10回	貧窮問答歌 892~893

到達目標

- ・万葉集という書物がどういうものなのか、わかるようになる。
- ・万葉集の時代の考え方や言葉、歴史や生活などがわかる。
- ・古典に対する見識や教養を高め、日本の文化や精神に触れる。
- ・文学を読むことを通して、人間のありかたや生きることの意味を考えることができる。

テキスト

『補訂版 万葉集本文篇』 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著 塙書房 2,100円(本体価格)

参考書

『万葉集事典』 中西進 講談社文庫 1,060円(本体価格)
『万葉ことば事典』 大和書房 6,800円(本体価格)
『万葉事始』 和泉書院 700円(本体価格)

木曜日

10:30~12:00

4月 23日

5月 14日、28日

6月 11日、18日

7月 2日

10月 1日、15日、29日

11月 12日

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
たけうち まさひこ
竹内 正彦

専門分野 日本中古文文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

源氏物語は五十四帖におよぶ長編物語です。本講座では、源氏物語を巻ごとにとりあげることによって、この長編物語全体の内容を視野に入れながら、心の機微を豊かに表現した物語の世界に分け入っていきます。具体的には、一回につきおおむね一つの巻を対象とし、テキストを用いてそれぞれの巻の内容をとらえたうえで、各巻の名場面をとりあげて原文で読み味わい、詳しく解説をしつつ、その世界を考えていきます。

古語による表現や時代背景、当時の習俗や習慣などについてもわかりやすく解説をしていきますので、源氏物語にはじめてふれる方や、あらためて読み直そうとお考えの方はもちろん、古典に親しんでみようと思いの方のご参加もお待ちしております。

今年度は、光源氏の物語の最終盤から第三部のはじまり、「柏木」巻から「竹河」巻までをとりあげる予定です。光源氏の晩年から没後の物語をご一緒に読み味わってまいりましょう。

第1回	「柏木」巻(1)	第6回	「御法」巻
第2回	「柏木」巻(2)	第7回	「幻」巻
第3回	「横笛」巻	第8回	「匂兵部卿」巻
第4回	「鈴虫」巻	第9回	「紅梅」巻
第5回	「夕霧」巻	第10回	「竹河」巻

到達目標

- ・源氏物語を読むために必要な基礎的な事柄について説明することができる。
- ・源氏物語の読解を通して、日本古典文学や日本文化に興味をもつことができる。

テキスト

『2時間でおさらいできる源氏物語』 だいわ文庫 竹内正彦著
大和書房 880円(本体価格800円)

参考書

『名場面で味わう源氏物語五十四帖』 竹内正彦著
ベストブック 1,980円(本体価格1,800円)

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
おだ まさる
小田 勝

専門分野 日本語学・古典文法



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

令和6年度後期から始まった『源氏物語』全講の3回目です。前年度の続き、空蟬巻の途中から読み進めます(本年度の中心は「夕顔」巻になります)。

私は、日本語学、古典文法が専門ですから、「ことば」にこだわって、正確に読み解いて行きます。例えば、桐壺巻で、光源氏を、素性を隠して高麗の相人に見せたところ、相人は驚いて、「あまたたびかたぶきあやしむ。」という本文があります。これを、どの現代語訳もみな、「何度も首を傾けて不思議がる」と訳しています。現代語としては、たしかに、そうなるのですけれども、原文には「首が傾いて不思議がる」と書かれています。古典語では、こういう場合、こういう表現をするのです(類例は、たくさんあります)。現代語と表現が異なるのです。古典文を「気分」で訳さず、こういうところを丁寧に注意しながら、読んでゆきます。また、「大極殿(だいごくでん)」[瑞垣(みづかき)]「乙女子(をとめこ)」など、語の清濁にも留意します。

この講座の受講者は、古典語、古典文についての知見を深めるとともに、我々の母語である現代日本語についてもかえりみることになるでしょう。

テキストは『対校源氏物語新釈』(平凡社)を用い、その紙面と、現代語訳とを配布します。

到達目標

- ・日本語学の視点から、『源氏物語』の表現世界を理解することができる。
- ・古典文を、正確に読解することができる。
- ・古典文の語彙・語法について、現代語と比較して、言語の変化に関心をもつことができる。

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

テキスト

資料を配付します

講師



國學院大學
准教授・博士(文学)
あらき ゆうや
荒木 優也

専門分野 和歌文学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

和歌ってわからない…必ず1度は感じたことがあるのではないのでしょうか。その一方で、何かわからないけれど和歌に興味を持っている方もいるのではないのでしょうか。

和歌はたった三十一文字（みそひともじ）しかないため、そのなかに多くの情報が詰め込まれています。その情報を読み解けるか否かが、和歌がわかる、わからないの分岐点になっているのです。…と書くと難しいように感じるかもしれませんが、なぜかなどのように考えていただくと、より身近になるかと思います。

本講座は、季節の和歌を読みながら和歌の基礎知識を学ぶことによって、和歌の面白さを少しでも深めることを目的とします。

第1回	春の歌を読む	第4回	秋の歌を読む
第2回	夏の歌を読む	第5回	冬の歌を読む
第3回	四時歌と恋歌		

「古典和歌入門」開講3年目の令和8年度は、開講日の季節にふさわしい和歌と一緒に味読していきたいと思います。『百人一首』に載るような一度は聞いたことのある歌や私がいいなと思う歌を取り上げ解説しながら、講座を進めていく予定です。

なお、昨年度から受講してくださっている方や本年度から受講してくださる方もいるでしょうから、わかりやすさを考えて、初年度や昨年度に取り扱った和歌も改めて取り上げることがあるかと思っています。ご了承のほどお願いします。

一緒に和歌を楽しみましょう。

到達目標

- ・平安時代から鎌倉時代における和歌の表現に親しめるようになる。
- ・和歌を解釈するには、どういったことに気をつければ良いかを理解できるようになる。

テキスト

資料を配付します



参考書 資料を紹介します

月曜日

14:30~16:00

4月	27日
5月	25日
6月	29日
10月	26日
11月	30日

受講料（会員区分）

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	13,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

対面講座

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
いわさき まさひこ
岩崎 雅彦

専門分野 中世文学
能・狂言



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では昨年度に引き続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んでゆく。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているのかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

第1回	能「橋弁慶」	第6回	能「俊寛」
第2回	『義経記』	第7回	『平家物語』
第3回	能「羅生門」	第8回	能「隅田川」①
第4回	能「雷電」	第9回	能「隅田川」②
第5回	『天神縁起』	第10回	能「巻網」

なお、希望者を対象に能・狂言の鑑賞を予定している。

到達目標

- ・能に対する理解を深める。

テキスト

資料を配付します



参考書 『謡曲大観』 明治書院

木曜日

14:30~16:00

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、25日
10月	1日、15日、29日
11月	12日、26日

受講料（会員区分）

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

13

松尾芭蕉の紀行文を読む ―『嵯峨日記』その他―

講師



國學院大學
教授

なかむら まさあき
中村 正明

専門分野 近世文学(江戸戯作)、
明治初期文学



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものである。
松尾芭蕉は深川の庵に隠棲した後、自らの俳諧を模索し極めるために、和漢の古典文学を学び、参禅をし、そして俳諧修行の旅へと出かけていった。その旅の様子は、紀行文『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』『おくのほそ道』として書き継がれていった。
芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧<蕉風俳諧>を生み出すに至るのである。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけである。
今回は、『おくのほそ道』の旅を終えて、しばらくの間上方に滞在していた芭蕉の様子を追います。特に、京の門人向井去来の嵯峨野の別宅落柿舎に滞在する様子を記した『嵯峨日記』をじっくりと読み解いていきます。いよいよ芭蕉の紀行文読解も終わりに近づきます。

第1回	芭蕉とその門人凡兆	第6回	『嵯峨日記』卯月廿三日・廿五日①
第2回	『嵯峨日記』解説・解題	第7回	『嵯峨日記』卯月廿五日②～廿七日
第3回	『嵯峨日記』卯月十八日・十九日	第8回	『嵯峨日記』卯月廿八日～五月朔日
第4回	『嵯峨日記』卯月廿日・廿一日	第9回	『嵯峨日記』五月二日～四日・まとめ
第5回	『嵯峨日記』卯月廿二日	第10回	芭蕉の俳諧 - 『去来抄』を中心に

到達目標

- 【知識・理解】 俳諧の特質を理解し、その文学的特徴を把握する。
松尾芭蕉の紀行文を理解し、その文学的特徴を把握する。
- 【思考・判断】 松尾芭蕉の紀行文を読み、読解することができる。
松尾芭蕉の俳諧作品を読み、理解することができる。
- 【興味・関心】 俳諧ならびに松尾芭蕉に興味を持ち、その作品を自ら読もうとすることができる。
講座内容をきっかけにして、さまざまな俳人や俳諧作品を読もうとすることができる。



テキスト 『芭蕉紀行文集』 中村俊定 校注 岩波文庫 720円(本体価格)

木曜日

10:30~12:00

4月	30日
5月	21日
6月	4日、25日
7月	9日
9月	24日
10月	8日、22日
11月	19日
12月	3日

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

14

文学の風景 ―〈憧れ〉の変幻―

講師



國學院大學
兼任講師

おかざき なおや
岡崎 直也

専門分野 近・現代文学

講座内容

夢と現実とが交錯する近代の幻想文学は、だからこそ細部まで周到に作りこみ、リアリティーを追求しました。現実の世界では容易には露呈せず、リアリズム文学では描きがたい、私たちの人生や社会の隠れた本質を不思議な出来事が鮮やかに開示する所以です。幻想文学の描く〈憧れ〉は〈憧れ〉を忘れた私たちの生き方を問い直してくれます。今年度は、名作の描く甘美な妖しい夢のなかへ皆さんとご一緒に存分に踏み迷ってみたいと思います。

第1回	泉 鏡花	『化 鳥』(明治30年)
第2回	泉 鏡花	『眉かくしの霊』(大正13年)
第3回	梶井基次郎	『Kの昇天』(大正15年)
第4回	江戸川乱歩	『押絵と旅する男』(昭和4年)
第5回	江戸川乱歩	『人間椅子』(大正14年)

到達目標

- ・様々な幻想文学の表現を知り、その問題提起や可能性を理解できる。
- ・作品がどのように語られているのか、その偏りを精査し、作品を豊かに鑑賞できる。

土曜日

10:30~12:00

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日、20日

受講料(会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	13,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 1単位



テキスト 資料を配付します ※対象とする作品は変更することもありますので、あらかじめご了承ください。

講師



新

國學院大學
准教授・博士(文学)
あんざい しんじ
安西 晋二

専門分野 日本近現代文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

動物を扱った文学作品は、古典から近現代にいたるまで多数存在しています。そういった物語において動物は、寓意、諷刺、教訓などを示す場合もあれば、児童向けとしてその表象が用いられる場合もあります。文学の世界では、動物の描かれ方も一様ではありません。近代以降も、夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介といった著名な作家たちが動物を題材とした小説を書いています。

人間同士のドラマではなく、なぜそこに動物を介在させる必要があったのでしょうか。特に、近代の文学は科学や合理を重視し、その多くはリアリズムを標榜してきました。動物を主とした文学は、そういった近代の特徴からときに逸脱していく傾向もあります。しかし、動物をもってして描かれるからこそ、より鮮明になる意義があるのでしょうか。

近年では、近現代文学研究の領域でも動物というテーマは注目されてきました。それらの蓄積もふまえて、本講座では動物を題材とした短編小説を取り上げ、その魅力とは何かを皆さんとともに考えていきたいと思います。

第1回	なぜ動物に注目するのか－泉鏡花「大和心」を例として－
第2回	夏目漱石「文鳥」
第3回	森鷗外「蛇」
第4回	宮沢賢治「注文の多い料理店」
第5回	太宰治「カチカチ山」

到達目標

- ・近代小説に関する基本的な読み方や研究方法を習得できる。
- ・近代小説に対し、批評的な見解を得られるようになる。



資料を配付します ※対象とする作品は変更する場合があります。

水曜日

10:30~12:00

4月	15日
5月	27日
6月	10日、24日
7月	1日

受講料 (会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	13,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

対面講座

コーディネーター・講師



國學院大學
教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

日本には、中国・朝鮮半島から漢字が伝わってきて以来、長い書の歴史があります。その歩みをたどるのが日本書道史です。

しかし、単に筆と墨で書かれた文字の歴史、あるいは書の名品を時代順に並べただけのものではありません。書道史は、いつも時代でも文化や思想、さらに政治や経済といった人々の営み、そして、それを支える地域や環境などとも密接に関わっているからです。

本講座では、日本書道史の研究に携わる本学の専任・兼任教員が、それぞれの専門とする分野から、基本的な事柄を踏まえつつ、最新のトピックをお話します。

*書道の実技を学ばれている方も、そうではない方も、歓迎です

第1回	奈良時代の写経－筆との関わりから	國學院大學教授	橋本 貴朗
第2回	漢字から仮名へ－仮名の成り立ちの新研究(1)	國學院大學兼任講師	中山 陽介
第3回	漢字から仮名へ－仮名の成り立ちの新研究(2)	國學院大學兼任講師	中山 陽介
第4回	平安時代の仮名－筆と紙との関わりから	國學院大學教授	橋本 貴朗
第5回	江戸の書－往来物と芭蕉句碑をめぐる	國學院大學兼任講師	古賀 弘幸
第6回	江戸時代の書文化－寛永文化と寛永の三筆(1)	國學院大學兼任講師	山口 恭子
第7回	江戸時代の書文化－寛永文化と寛永の三筆(2)	國學院大學兼任講師	山口 恭子
第8回	和刻法帖－江戸の書は百花繚乱	國學院大學兼任講師	横倉 佳男
第9回	拓本－発見された「尚古法帖」版木の実見をまじえて	國學院大學兼任講師	日野 楠雄
第10回	いま見えてきた紫式部時代の文房四宝(筆墨硯紙)	國學院大學兼任講師	日野 楠雄

到達目標

- ・日本書道史上の代表的作品や人物、重要事項等を理解する。
- ・上記をもとに、日本の書の歴史的展開の概要を把握する。
- ・書を広く文化史や思想史等との関係において捉え、その背景を考察する観点を身につける。

月曜日

10:30~12:00

5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	6日
10月	5日、19日
11月	16日、30日
12月	14日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位



資料を配付します



参考書 『決定版 日本書道史』 名児耶明 監修 芸術新聞社 3,300円(本体価格)

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
おおいし やすお
大石 泰夫

専門分野

民俗学・上代文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講師



國學院大學
教授・博士(文学)
いとう りょうへい
伊藤 龍平

専門分野

伝承文学(近世から近現代の説話)



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講師



國學院大學
教授・博士(民俗学)
はっとり ひろみ
服部 比呂美

専門分野

民俗学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

古典文学と民俗伝承を結びつけて研究する方法は、國學院大學の古典文学研究と民俗研究の大きな特色です。この講座では、それをわかりやすく講じてみたいと思います。講義は大きく分けて2通りの内容を考えています。

- 1) 古典文学を民俗学的視点から読む
- 2) 近世資料から当時の民俗の実態を確認する

今年度は「上代文学と民俗伝承」(大石)、「口承文芸と古典文学・文人の伝承」(伊藤)、「近世資料に見る民俗」(服部)を担当している3人がこの講座を担当します。日程の担当と内容は以下の通りです。

第1回	大石 伝説をよむ歌
第2回	伊藤 山中異郷譚 - 講読『芭蕉翁行脚怪談袋』④-
第3回	服部 端午節供の供え物・飾り物(『守貞謄稿』『東都歳事記』ほか)
第4回	大石 有間皇子の悲劇
第5回	伊藤 俳人と狐狸貉 - 講読『芭蕉翁行脚怪談袋』⑤-
第6回	服部 都市祭礼と造り物(『造物趣向種』ほか)
第7回	大石 大津皇子の悲劇
第8回	伊藤 「雨乞其角」の歩んだ道 - 講読『芭蕉翁行脚怪談袋』⑥-
第9回	服部 七・五・三の儀礼(『諸国風俗問状答』ほか)
第10回	大石 女性のチカラ

到達目標

- ・古典文学を生活伝承の視点から鑑賞することができる。
- ・古典籍・古典文学を使って書かれた当時の伝承文化を知り、現代の伝承文化を考えることができる。

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

テキスト

資料を配付します

講師



國學院大學
准教授・博士(歴史学)
やまさき まさとし
山崎 雅稔

専門分野 日本古代史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

20年来続いている韓流ブームとともに、日本と韓国の関係は大きく変わろうとしています。ドラマなどをとおして韓国の歴史に接する機会も増えてきました。そこで、この講座では、古代にさかのぼって韓国・朝鮮と日本の交流の源流を探ってみたいと思います。

今年度は、延暦寺の基礎を築いた慈覚大師円仁が残した『入唐求法巡礼行記』に登場する新羅人の国際交易、彼らの存在が日本に及ぼした政治的・社会的に影響をみていきます。

唐に渡った円仁が、唐で頼りにしていた人物に張宝高(張保皐)という新羅人がいます。日本ではなじみの薄い人物かもしれませんが、韓国では、国民的作家の崔仁浩が、この人物を主人公にして『海神』という歴史小説を書き、ドラマ化されています。じつは、張宝高は『続日本後紀』に登場します。その死は衝撃をもって当時の貴族たちに受け止められたことが知られます。

5回の講義では、円仁と張宝高の関係を軸に新しい研究の可能性を模索します。各回の内容は、以下のようなテーマを予定しています。

第1回	円仁の入唐求法と赤山明神
第2回	杜牧が書いた張宝高の伝記
第3回	新羅人の対日交易と張宝高
第4回	836年の新羅国執事省牒を読む
第5回	張宝高没後の日本と新羅

到達目標

- ・古代日本と東アジア、朝鮮半島の交流を歴史学上の論点をふまえて理解する。



資料を配付します

月曜日

12:50~14:20

9月	28日
10月	19日
11月	9日、30日
12月	14日

受講料(会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	13,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

対面講座

講師



國學院大學
教授・博士(史学)
たかはし ひでき
高橋 秀樹

専門分野 日本中世史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』は、鎌倉時代を知るための基本史料です。徳川家康の愛読書であったことが知られており、明治以来の中世史研究は、『吾妻鏡』とともにあったと言ってもいいほどです。従来の鎌倉時代史研究は、『吾妻鏡』をなぞることで進められてきましたが、最近になって、編纂物である『吾妻鏡』が何を原史料や情報源にしているのかを考えることで、『吾妻鏡』が事実を伝えている部分と、創作を加えている部分とを識別し、鎌倉時代の政治史を再構築しようとする研究が登場しました。通年開講となった今年の講座では、治承4年(1180)8月の石橋山合戦で敗れた源頼朝らが安房国に上陸し、南関東の武士たちを糾合しながら、関東地方を掌握していく過程の記事を取り上げ、解説を加えながら、じっくりと丁寧に読み進めていきます。一緒に『吾妻鏡』の世界に踏み入ってみましょう。

到達目標

- ・『吾妻鏡』の文章に親しむ。
- ・源頼朝の関東地方掌握の過程を知る。
- ・中世の人々の思考や社会のあり方を知る。

木曜日

10:30~12:00

4月	30日
5月	21日
6月	4日、25日
7月	9日
9月	24日
10月	8日
11月	19日
12月	3日、17日

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位



資料を配付します



『新訂吾妻鏡一 頼朝将軍記1』 高橋秀樹編 和泉書院 3,900円(本体価格) 2015年
『対決の東国史2 北条氏と三浦氏』 高橋秀樹 吉川弘文館 2,000円(本体価格) 2021年

20

秀吉兄弟と豊臣政権

講師



國學院大學
教授・博士(歴史学)
矢部 健太郎
専門分野 戦国・織豊期の政治史・公武関係史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

短期間で天下一統を果たした豊臣政権は、秀吉の死後あっけなく崩壊してしまう。そのため、秀吉個人の独裁性や、実子鶴松・弟秀長の死による秀吉の暴走、朝鮮出兵や「秀次事件」など、政権が短命であった理由が様々挙げられてきた。しかしながら、秀吉は本当に政権維持の対策を何も考えていなかったのだろうか。智仁親王や秀長、鶴松や秀次、晩年に生まれた実子秀頼と対象は変遷したもの、関白の後継者候補は常に存在していた。よって、秀吉が「自らの代で政権を終わらせようとしていた」とは到底考えられない。

近年、かつての「秀吉独裁政権」像や晩年に急造された「五大老」像などは見直され、かなり早い段階で、大名連合的な政権構造が整備されつつあったことが明らかになった。中でも、「豊臣摂関家」たる豊臣宗家を頂点とした「武家家格制」を創出し、臣従した諸大名を支配下においたことは重要である。そうした秩序の中で、秀吉の一族はどのような役割を担ったのか。NHK大河ドラマ『豊臣兄弟!』の主人公・羽柴秀長を中心に、検討してみたい。

【講義項目(予定)】

「羽柴秀長の研究史と史料」「戦国大名」羽柴氏の誕生
「秀吉の支配領域拡大と羽柴秀長」「秀吉の関白任官と畿内・西国状況」
「聚楽第行幸と『清華成』大名」「小田原出兵と秀長の病」「秀長の死と豊臣政権」

到達目標

- ・通説とその問題点を理解し、関係史料を読解することで、新たな知見を獲得すること。

テキスト

資料を配付します

参考書

講座内で紹介します

月曜日

10:30~12:00

4月	20日
5月	18日
6月	1日、15日、29日
7月	13日
10月	5日、26日
11月	16日
12月	7日

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

21

江戸時代の古文書を読む

講師



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)
根岸 茂夫
専門分野 日本近世史

講座内容

くずし字で書かれた江戸時代の古文書を、受講の皆さんとわかりやすく読み解いていきます。江戸時代の古文書は20億点あるといわれますが、活字になって読めるのはおそらく1~2%に過ぎません。未刊でくずし字の古文書を解読すると、さまざまな新史実を知ることができ、その背景を考えていくと江戸時代の社会や政治の特徴が浮かび上がってきます。

ところで、古文書解読の解説書は数多く出版されていますが、そうした書籍を勉強するだけで古文書を読むのはなかなか難しいことです。それは解説書の多くが、くずし字の形を「覚えなさい」と教えているからです。この講座では、覚えるよりも、なぜこんなくずし方をしたのかと、くずし字の特徴を理解しながら、江戸時代の歴史のおもしろさを古文書から実感していきましょう。なるべく現物の古文書を見る機会を設けたいと思います。

昨年度に続いて、江戸時代の流れを理解できるように時代を追って古文書を読んでいます。今期は寛永14年(1637)の島原天草一揆の前後から、寛永19・20年前後の寛永大飢饉に至る古文書を読みながら、近世前期の政治や社会の転換期についての問題を皆さんと考えていくつもりです。

到達目標

- ・江戸時代の古文書が読めるようになる。古文書が作られた背景を、歴史の流れに位置付けて理解できるようになる。

金曜日

12:50~14:20

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
7月	10日
10月	2日、16日、30日
11月	20日

受講料(会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

テキスト

古文書のコピーや関係資料を授業中に配布します

参考書

『新編近世古文書解読字典』 柏書房(1993年刊)など、古文書字典1冊を用意されると便利です。

講師



國學院大學
教授・博士(学術)

新藤 透

専門分野 図書館情報学

新

講座内容

普段みなさんが利用している図書館は、いつから存在しているのでしょうか。「図書館」という言葉は明治時代に誕生しましたが、実はそれ以前の遙か昔から現代の図書館に似たような役割を果たしていた施設やネットワーク、個人が存在していました。本講座は、文字が日本に伝来する以前の「語り部」の時代から、聖徳太子がつくった図書館、平安時代の貴族の書籍貸借ネットワーク、戦国武将の読書趣味、江戸時代の庶民の読書ネットワークまで、前近代の時代を中心に扱います。政治・経済・社会など、小中高で習ってきた歴史とは少し違う視点から日本史を再考します。

第1回	古代の図書館①
第2回	古代の図書館②
第3回	中世の図書館
第4回	近世の図書館①
第5回	近世の図書館②

到達目標

- 古代から近世までの図書館について十分な知識を身につけることを目標とします。



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。



『図書館の日本史 増補改訂版』 新藤透 勉誠社
ライブラリーぶっくす 3,800円(本体価格)
授業で使用するPowerPointも配付する。



『古代日本に於ける「図書館」の起源』 新藤透 樹村房 3,200円(本体価格) 2022
『戦国の図書館』 新藤透 東京堂出版 2,500円(本体価格) 2020
『図書館と江戸時代の人びと』 新藤透 柏書房 2,600円(本体価格) 2017

金曜日

14:30~16:00

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日

受講料 (会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	13,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 1単位

対面講座

講師



國學院大學
教授・法学博士

坂本 一登

専門分野 日本政治史

新

講座内容

本講座は、改めて、明治という時代を、政治史的にふりかえてみたいと思います。独自の社会を築いてきた徳川体制が、幕末に西洋と遭遇し、日本の近代国家化が始まります。その際、日本は、世界史的動向に対応しながら、どのように近代国家を創っていったのでしょうか、そしてその後どのように変容していったのでしょうか、それを、象徴的な出来事や、政治の構造から読み解いていきたいと思っています。ただそれだけだと、話が抽象的になってしまうので、明治期に活躍した大久保利通や伊藤博文および明治天皇らの個人的エピソードを交えながら、考えていきたいと思っています。また國學院大學には、明治憲法の起草の中心になった井上毅が残した書簡や調査資料が大量に所蔵されています。井上の号をとって梧陰文庫と呼ばれている、その文書の一部を紹介しながら、憲法制定の苦心や苦労をも紹介していきたい。そして最後に、現在、日中関係が緊張していますが、近代日本は、中国や韓国といった東アジアの国々とともに国際関係をつくっていったのでしょうか。その原点をさぐってみたいと思います。

到達目標

- 日本の近代化について、西欧近代や東アジアとの関係の中で、その政治過程の概略が説明できる。
- 近代国家の形成や発展および変容の背景を理解し、なぜそうした変化が起こったのかを説明できる。
- 技能・表現：歴史用語の説明ができ、使いこなせるようになる。



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。



資料を配付します

金曜日

10:30~12:00

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
7月	10日
10月	2日、16日、30日
11月	20日

受講料 (会員区分)

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)
6	18,000円	渋谷区・横浜市青葉区在住者
7	26,000円	他校の学生(高校・大学・大学院)

■単位数 2単位

コーディネーター・講師



國學院大學
教授(特別専任)・
博士(文学)

あさの はるじ
浅野 春二

専門分野 道教儀礼研究

講座内容

わが国がはじめて接した外国の文化は中国のものであり、日本人は中国文化の受容を通して自国の文化を形成し、自覚してきました。日本人にとっての古典とは国文学と漢文学を指します。國學院で探究されてきた学問においても、漢文学研究は重要な位置を占めています。

今年度も5人の講師がそれぞれ独自の角度から漢文古典にアプローチします。分野・時代の異なるさまざまな作品を対象とし、作品そのものを読み味わう講座や作品の背景、読解の方法に焦点を当てた講座を織り交ぜて、多角的な理解を目指します。

第1回	中国の古典漢詩を読む 一詩にうたわれた子供たち	國學院大學兼任講師 澤崎 久和
第2回	道教の符と呪術	國學院大學教授(特別選任) 浅野 春二
第3回	中国古代の処世術 一戦国時代の遊説家を中心に	國學院大學准教授 鈴木 崇義
第4回	楚辞に於ける「秋」の表現について	國學院大學兼任講師 木村 剛大
第5回	古代の賢者はどう困難を越えたか ―『尚書』を読み解く	國學院大學准教授 青木 洋司

到達目標

- ・漢文古典の多角的理解、読解方法の修得。

10月	3日、17日
11月	7日、21日
12月	5日

受講料(会員区分)

1	13,000円	一般
2	9,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	9,000円	本学の卒業生
4	9,000円	若木育成会会員
5	6,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員(専任)
6	9,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	13,000円	他校の学生 (高校・大学・大学院)

■単位数 1単位



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

テキスト

資料を配付します

参考書

各回の担当者から適宜紹介します

講師



國學院大學
教授
いしもと みちあき
石本 道明

専門分野 中国古典文学



國學院大學博物館 企画展
『論語 for Beginners—『論語』
と格闘した江戸時代—』展示
解説動画 (YouTube)



二次元コードより、講師情報
の詳細をご覧いただけます。

講座内容

日本人が『論語』を読み始めてから、すでに千年以上の時が経っています。応神天皇が初めて渡来した『論語』を皇子の菟道稚郎子（うじのわきいらつこ）に与えた故事から、遥か後世の江戸時代における子どもたちの素読、そして明治時代に渋沢栄一が「青年諸君よ、余が八十余年の実績を見よ。安心して『論語』の教訓を実行せよ」と勧めた言葉からも、日本人が『論語』の持つ「人を造る力」に長きにわたり強い関心を持ち続けてきたことが分かります。

孔子は、単に知識を知るだけでは「物知り」に過ぎず、実行してこそ学問が活きると強調しました。「人を造る」ことは、知識を常に行動に移すことから始まります。この教えこそが、『論語』が現代においても生き続ける理由です。

本講座では、最も普及した朱熹（しゅぎ）の註釈を理解の基礎とします。これに加え、他の時代の学者や江戸時代の儒者などの多様な解釈を別解としてご紹介し、受講者の皆様とともにその意味を深く吟味していきます。

『論語』は各章句が独立しており、どこから読み始めても差し支えない構成です。そのため、初めて学ばれる方もご心配はいりません。今期はまず冒頭の「学んで時に之を習ふ」章を紹介し、憲問第十四へと進む予定です。

到達目標

- ・『論語』の基礎知識を強固なものにする。
- ・各章句の多様な解釈を理解できる。
- ・章句に込められた内容の趣旨を把握する。

火曜日

10:30~12:00

4月	14日、28日
5月	12日、26日
6月	9日、23日
7月	7日
10月	6日、20日
11月	10日

受講料（会員区分）

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員（専任）
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 （高校・大学・大学院）

■単位数 2単位

テキスト

『論語 朱熹の本文訳と別解』 石本道明・青木洋司共著
明徳出版社 1,900円（本体価格）

参考書

孔子全書 『論語』第1冊～第10冊・『史記』第11冊～第12冊・『孔子家語』第13冊

対面講座

講師



國學院大學
客員教授
産経新聞編集局客員編集委員
くぼた りこ
久保田るり子

専門分野 国際関係、安全保障、
アジア情勢、朝鮮半島
問題、日本外交



拓殖国際フォーラム

講座内容

2026年、国際社会は分断と対立に直面している。米国第一主義を掲げたトランプ政権は、リーダーとしての「米国」の信頼性を著しく低下させた。自由主義圏の価値観の中心を失った世界は「Gゼロ」の時代を迎えることになった。世界は自由主義陣営と権威主義陣営に二分化され、自由主義陣営の中心であった米国が一国主義に変貌したことで「多極化の時代」に入った。これを「地政学的な多極化の時代」という。二分化された両陣営のトップ、米国と中国の緊張は引き続き経済・安全保障面で強く作用しており、多極化と陣営対立が平行して進行中している。第二次世界大戦後、世界は長い時間をかけて「国際秩序」を構築してきたが、現在われわれが目に見ている世界では戦争と紛争が止まらず、各国の利己的な国益追及で無政府状態が続いている。ロシアによる国家侵略に国際法は通用せず、国連が機能しなくなって久しい。東アジアでは北朝鮮の金正恩体制が戦術核の先制使用を宣言、朝鮮半島の危機が常態化、共産党規約に「台湾独立の断固阻止」を明記した中国による台湾海峡危機への懸念も高まっている。この講義では、こうした激変する世界の潮流と、これに対する日本の対応を軸に学び、国際情勢分析の視座を持つことを目指している。

到達目標

- ・この機会に日本の外交・安全保障政策が現在の国際情勢に即しているかどうかについて、ご自身の考えをまとめることを目指してください。

金曜日

10:30~12:00

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
7月	10日
10月	2日、16日、30日
11月	20日

受講料（会員区分）

1	26,000円	一般
2	18,000円	系列校在学生、 系列校在学生父母
3	18,000円	本学の卒業生
4	18,000円	若木育成会会員
5	12,000円	本学学部・ 大学院学生・ 法人教職員（専任）
6	18,000円	渋谷区・ 横浜市青葉区 在住者
7	26,000円	他校の学生 （高校・大学・大学院）

■単位数 2単位

テキスト

資料を配付します

参考書

産経新聞オピニオン面（土曜、月一回の掲載）コラム 「久保田るり子の朝鮮半島ウオッチ」
月刊「正論」連載コラム 「朝鮮半島数にらみ」

実技講座「書道」の受講にあたって

※必ず事前にご一読ください

実技講座「書道」をご受講の皆様へ

- 受講料は5回講座「15,000円」です。
10回講座「30,000円」です。

※受講料の割引制度適用外となります。予めご了承ください。

- 全ての講座を渋谷キャンパスで開講いたします。
- 各講座半期5回、または10回の講座です。
- 定員は25名です。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。
(27仮名(短期集中)〈初級〉は定員20名です。)

27「仮名(短期集中)〈初級〉－仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)－」は

令和8年3月9日(月)以降にお申込み手続きを開始いたします。

3月9日(月)以前に申込書をお送りいただいても受付することが出来ませんのでご注意ください。

渋谷キャンパス

27

仮名(短期集中)〈初級〉

－仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)－

令和8年3月9日(月)以降
申込受付開始

月曜日

①10:30~12:00
②12:50~14:20

講師



國學院大学
教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門
分野

書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の
詳細をご覧ください。

講座内容

今日の仮名書道の学習において第一に推奨される「高野切第三種」に主に抛りながら、平仮名と変体仮名(平仮名以外の仮名)を順を追って丁寧に学んでいきます。仮名書道の基本的な筆使いの習得を目指します。

筆は小筆、墨は固形墨(墨液・墨汁は不可)、半紙は仮名用・仮名向きのものを使用します。用具・用材について、詳しくは講座第1回目で説明しますが、書道用具のある方は第1回目より一式、御持参ください(お持ちでない方は、第1回目の説明後に御購入ください〈第1回目はお貸しします〉)。

各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

※昨年度(令和7年度)前期の「仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)」の圧縮版です
仮名書道初心者の方、また基礎のおさらいにお奨めします
本講座に続けて、「仮名書道に親しむ(連綿・臨書)」を受講することも可能です

到達目標

- ・仮名書道の基本的な筆使いを理解する。
- ・平仮名、変体仮名を古典的な美しい形で書くことができる。
- ・仮名の書の造形原理を把握する観点を養う。

受講料

15,000円
(割引適用はございません)

■単位数 1単位

■定員 20名

テキスト

資料を配付します

参考書

『「かな」の疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 2,000円(本体価格)
『図説かなの成り立ち事典』 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

28

仮名(一)〈初級〉 ー仮名書道に親しむ(連綿・臨書)ー

講師



國學院大學
教授・博士(芸術学)

はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

今日の仮名書道において第一に推奨される「高野切第三種」に主に拠りながら、まず連綿(続け書き)について、その仕方を丁寧に学んでいきます。

その上で、仮名書道の学習の王道である平安時代の古筆(古人の筆跡)の臨書(手本を見ながら書くこと)へと進みます。本講座では、特に原寸大での臨書(原寸臨書)の取り組み方について学びたいと思います。

必要な用具・用材については、講座第1回目で説明します(第2回目以降、必携)。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

※昨年度(令和7年度)前期の「仮名書道に親しむ(平仮名・変体仮名)」の続編にあたります

平仮名・変体仮名をひと通り学ばれた方を対象としています

到達目標

- ・仮名書道における連綿の仕方を理解する。
- ・平安時代の古筆の原寸大の臨書に取り組むことができる。
- ・仮名の書の造形原理を把握する観点を養う。

テキスト 資料を配付します

参考書 『「かな」の疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 2,000円(本体価格)
『図説かなの成り立ち事典』 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

月曜日

12:50~14:20

4月	27日
5月	11日、18日、25日
6月	1日、8日、15日 22日、29日
7月	6日

受講料

30,000円
(割引適用はございません)

■単位数 2単位

■定員 25名

29

仮名(二)〈中級〉 ー升色紙ー

講師



國學院大學
教授・博士(芸術学)

はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

「寸松庵色紙」「継色紙」とあわせて今日「三色紙」と総称される、平安時代の古筆を代表する優品の一つ「升色紙」を取り上げます。

名前に「色紙」とありますが元は冊子本で、清少納言の曾祖父・清原深養父の家集『深養父集』を書写したものです。巧みな散らし書き(行の長短・高低や行間の広狭などに変化をつけた書き方)で知られていますが、当初の姿から改変されているケースも少なくありません。

本講座では、その散らし書きの特性をはじめとして、料紙(書かれた紙)・装丁(本の仕立て方)等、様々な観点から丁寧に見ていくことで、「升色紙」に対する理解を深めるとともに、仮名書道の技法の一層の習熟を目指します。原寸臨書を中心に、倣書(特定の書風を模倣して書くこと)にもチャレンジしたいと考えています。

必要な用具・用材については、講座第1回目で説明します(第2回目以降、必携)。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

※仮名書道の基礎を学ばれた方を対象としています

到達目標

- ・「升色紙」の特徴について説明することができる。
- ・「升色紙」を原寸大で臨書することができる。
- ・「升色紙」について多角的な調査・分析を行い、自らの表現方法として探究することができる。

テキスト 資料を配付します

参考書 日本名筆選16「升色紙」 伝藤原行成筆 二玄社 2,800円(本体価格)
『「かな」の疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 2,000円(本体価格)

月曜日

12:50~14:20

9月	28日
10月	5日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	7日、14日、21日

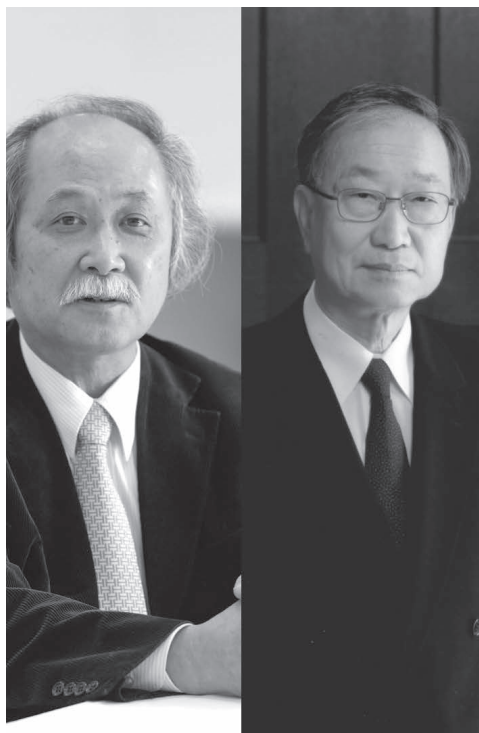
受講料

30,000円
(割引適用はございません)

■単位数 2単位

■定員 25名

特別講座のご案内



令和8年度 國學院大學 特別講座

①日本神道史

—祭祀思想史からみた神話と歴史の循環体系—
岡田 莊司 講師

②柳田國男の民俗学と折口信夫

—誤読と誤解から理解へ、そして継承発展へ—
新谷 尚紀 講師

●各講座の詳細は、25ページをご確認ください。

●申し込み方法

オープンカレッジと同じ申込書、はがき、メールの方法でお申し込みください。

※申込方法の詳細は28、29ページをご確認ください。

※特別講座のみをご受講頂く場合は、入会金は不要です。

※本講座は「特別講座」のため、オープンカレッジ会員区分による割引は適用外です。

01

日本神道史

— 祭祀思想史からみた神話と歴史の循環体系 —

特別講座



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)
研究開発推進機構客員教授

おかだ しょうじ
岡田 莊司

専門分野 古代中世神道史・
祭祀史

講座内容

神道を言葉化することは難しいといわれますが、学問による神道信仰への理解を深め、次世代に伝えていきたいと念じております。國學院に受け継がれてきた「國學院神道」の学問は、戦前・戦後の教授・研究者によって、学問と自身の信仰とが一体となって構築されてきました。こうした先人の先生方の思いを受け継ぎ、わたしも学問と信仰と人生とを完結できる、特別講座に生き甲斐を感じながら、講義をすすめていきます。

「日本神道史」の現代にいたる大きな流れは、「伊勢と出雲、神話と歴史の循環体系」のなかに位置づけられるといえるでしょう。21世紀の四半世紀が終わった今、自然災害・人為的諸事象など理不尽な困難を生き抜くためには、神道信仰における古田兼俱の言葉「心を守る道」を模索していくほかはありません。

全国の神社と地域社会において、古代から現代まで、祭祀・祭式の所作が受け継がれてきました。その事例を神話と歴史をたどりながら、古代人が求めつづけてきた神々とは何か、「祭祀思想史」の世界へご案内したいと思います。神話と祭祀の本源を求めて、人と自然と共同体を結ぶ祭祀のネットワークを通して、人生を完結できる神道における生きる糧を明らかにしていきます。

第1回	伊勢と天皇祭祀における神話と歴史の循環体系
第2回	出雲神話と鹿島・香取・春日の祭祀論
第3回	神道の自然観と神仏関係論
第4回	可視化される神々、「心神」の信仰系譜
第5回	神話と歴史をつなぐ「祭祀思想史」は未来神道へ

到達目標

- ・神話と学問とは未完成なもの。やりつづけることが肝要。講義では神話と古代から現代へいたる信仰系譜とその循環体系を明らかにしていきますが、そのなかで一つ、自身が深められた信仰世界に回帰し、循環する関係性を確定していくことを願っています。



テキスト 資料を配付します



参考書 『日本神道史』 岡田莊司・小林宣彦 編 吉川弘文館 3,500円(本体価格) 2021年

水曜日

10:30~12:00

4月	22日
5月	13日
7月	8日
10月	21日
11月	25日

受講料

13,000円
(割引適用はございません)

02

柳田國男の民俗学と折口信夫

— 誤読と誤解から理解へ、そして継承発展へ —

特別講座



國學院大學
元教授・博士(社会学)
国立歴史民俗博物館名誉教授
国立総合研究大学院大学名誉教授

しんたに たかのり
新谷 尚紀

専門分野 民俗学

講座内容

國學院大學は日本の民俗学を創始した柳田國男と、その学問を深く理解し大学としてはじめて國學院に「民俗学」の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めて後進を指導した大学です。それがいまでは「博士」の学位を授与できる日本で唯一の大学となっています。その日本の民俗学はフォークロア(庶民の知恵)の翻訳学問ではなく、独自の「民間伝承の学」であり、生活文化の中の「伝承」と「変遷」を読み解こうとする新しい歴史学でした。文字記録を資料とするのが伝統的な歴史学つまり文献史学で、発掘遺物を資料とするのが考古学、民俗伝承を資料とするのが民俗学です。それらの三つの協業による新しい広義の歴史学の創成を目指したのが研究博物館としての国立歴史民俗博物館を創設した歴史学者の井上光貞でした。その民俗学を知るためには、柳田が提唱し実践した民俗学の視点と方法と成果に学ぶことが第一です。そして同時にそれを理解しさらに独自の研究の成果を提示しながら、柳田を終生変わることなく尊敬して民俗学の成長に協力を惜しなかった折口信夫の研究を知ることです。この講座では、その柳田の民俗学、折口信夫の民俗学、そしてその後の民俗学の研究成果について紹介していきます。

到達目標

- ・民俗学とはどのような学問かを理解すること。
- ・さまざまな民俗学の本が氾濫する中で、それらについての真贋を見分ける鑑識眼をもつこと。
- ・民俗学が明らかにしてきたこと、そしてこれからの可能性について、一定の知見を得ること。



テキスト 資料を配付します



参考書 『民俗学とは何か』 吉川弘文館 1,900円(本体価格) 2011年

水曜日

14:30~16:00

4月	22日
5月	13日、27日
6月	10日、24日
7月	8日
10月	7日、21日
11月	11日、25日

受講料 (会員区分)

26,000円
(割引適用はございません)

特別講座

エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

オンライン公開講座

高等教育機関として培った知見やノウハウを広く社会に還元することを目的として、年齢・性別・学歴・地域等を問わず、多様化した時代にふさわしい講座の発信をしています。

オンラインの特性を活かし、ご都合の良い時間、場所にてご受講いただけるよう、オンデマンド配信講座を多く取り揃えています。

本学の学部（文学/経済/法学/人間開発/観光まちづくり）ごと、また時勢に応じた幅広い分野の講座を展開していきます。

オンライン公開講座「日本の弔いー東日本編ー」

共催：一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団／互助会保証 株式会社

講座コーディネーター：大道 晴香（國學院大學准教授）

講座内容

本講座では、日本国内に息づいてきた「弔い」の文化について、地域ごとの特色を意識しながら、その多様性に目を向けていきたいと思えます。お墓を筆頭に、仏壇・位牌・遺影写真・供養塔など、私たちは目には見えない〈死者〉を様々な媒介物によって表現し、可視化することで、そこに生と死の境界を超えたコミュニケーションを成立させてきました。日本でアンケート調査を行うと、約7割の人が「宗教を信じない」と回答する一方で、お墓参りは今なお高い実施率を維持しています。ただし、お盆の時期に地域差があるように、「弔い」は普遍的な現象ではものの、そのあり方は土地ごとに大きく異なります。それぞれの地域で、〈死者〉はいかに表現され、生者といかなるコミュニケーションを展開してきたのか。

今回は、東日本に焦点を当て、各地域で営まれてきた弔いの諸相について当該地域や文化を研究してきた先生方にお話しいただきます。

上記講座、また今後開講を予定している講座については、右記二次元コードまたはURLの「公開講座専用ページ」にて随時更新いたします。

〈公開講座専用ページ〉

<https://kokugakuin.nextacademy.jp/>



公開古典講座

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の、夏季短期集中講座です。

『萬葉集』・『源氏物語』を、5日間集中的に学ぶことができます。

講座内容、お申し込み方法等詳細は、6月中旬に情報を公開いたします。



「公開古典講座」講座の様子（令和5年度）

國學院大學博物館のご紹介

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古・神道・校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、オンラインミュージアムでも展示をお楽しみいただけます。

開館時間 ■ 10:00～18:00(入館は17:30まで)

ミュージアムショップ：10:30～17:30

開館日 ■ 通年(土・日・祝日含む)

休館日 ■ 月(祝日を除く)

※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

入館料 ■ 無料

問合せ先 ■ TEL：03-5466-0359

URL：https://museum.kokugakuin.ac.jp/

ミュージアムショップにて、図録、展示関連書籍、オリジナルグッズなどを販売しています。



「國學院大學萬葉の花の会」のご紹介

平成5年、たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開設いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

開催時期 ■ 9月上旬～中旬(予定)

会場 ■ 國學院大學 たまプラーザキャンパス(予定・詳細は、毎年7月頃決定となります)

会費 ■ 3,000円(学生2,000円)

※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。

萬葉弁当代 ■ 萬葉弁当代 ※申込時の事前受付のみ 1,200円

発行物 ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。

萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されています。また、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。

毎年12月頃発行

※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)

問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志(國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0891 FAX 03-5466-0163

オープンカレッジ申し込み方法

【STEP①】 申し込み



FAXの場合

パンフレット付属の受講申込書
(FAX用)に必要事項を記入
※払込取扱票まで全て記入して
ください



ハガキの場合

パンフレット付属のハガキに必要事項を記入(両面)
※個人情報保護シールも是非ご活用ください。



メールの場合

二次元コード、またはURLより
受講申込書(Excel)をダウンロードし入力 (FAX用紙の写真添付も可)



受講申込書二次元コード
(<https://x.gd/5loXA>)

●新規→受講料 + 入会金

●継続→受講料のみ

※会員区分によって金額が異なる為、次ページの
「会員区分一覧表」を必ず確認しながらご記入ください

【STEP②】 発送

払込取扱票を切り離さずに
エクステンションセンターへ
FAXする
送信先↓
03-5466-0394

85円切手を貼付のうえ投函。

受講申込書(Excel)を保存し、
メールに添付して送信。
送信先↓
jigy@kokugakuin.ac.jp

添付書類の提出が必要な場合は同送

※次ページの「会員区分一覧表」を確認

【STEP③】 振込

〈振込方法①〉

受講申込書(FAX用)の払込取扱票を記入し、
下記のどちらかで振込。

- 郵便局
- ゆうちょ銀行ATM

〈振込方法②〉

ゆうちょ銀行ネットバンキングにて振込。

- 預金項目：当座預金
- 店名：〇一九支店(ゼロイチキュー店)
- 店番：019 ●口座番号：[0603401]
- 加入者名：國學院大學エクステンションセンター

※お間違いのないよう振込前に確認をお願いします。

申込締切日：3月18日(水)

受講証受領

3月以降、入金の確認ができ次第エクステンションセンターより順次発送
新規の会員証は、受講証とともに送ります

全講座先着順です。

- ◆各講座の申し込み状況を、随時大学HPにて更新いたします。ご確認のうえ、お申し込みください。
- ◆後期講座も併せてお申し込みください。
- ◆定員に達した場合はお申し込みをお断りすることがあります。

会員区分一覧表

会員区分	所 属	入会金	受講料	添付書類
1	一般	¥ 4,000	各講座の ページで ご確認ください。	
2	系列校在学生、系列校在学生父母※	¥ 3,000		
3	本学の卒業生	¥ 3,000		
4	若木育成会会員	¥ 3,000		学生証の写し ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員(専任)	無 料		学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	¥ 3,000		在住を証明するもの (免許証の写し) ※入会時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	¥ 3,000		学生証の写し ※毎年度提出

※系列校は「國學院久我山中学・高校」「國學院高校」「國學院大學付属幼稚園」「國學院幼稚園」「國學院大學北海道短期大学部」を指します。

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡ください。
- ◆実技講座(書道)、特別講座は受講料の割引対象外です。

【お申し込みに関する注意事項】

- ◆メール申し込み用の受講申込書URLはこちらです。➡(<https://x.gd/5loXA>)
- ◆日程が一部重複している講座をお申し込みされた場合であっても、特別な対応は致しておりません。あらかじめご了承ください。
- ◆メールでのお申し込みにつきまして、FAX用受講申込書に記入したものを、データ(PDFまたはJPEG)で添付してお送りいただいてもかまいません。
- ◆FAXでのお申し込みの際は、払込取扱票を切り離さずに送信してください。
- ◆入金の確認ができた時点で申込完了となりますので、申込書をお送りいただきましたら、直ちにご入金をお願いいたします。
- ◆申込完了のご連絡として、「受講証」および「オープンカレッジ受講に関するご案内」を郵送でお送りいたします。令和8年度より新規にお申し込みいただいた方には「会員証」を併せてお送りいたします。

申込記入例

國學院大學

オープンカレッジ・特別講座受講申込書 (FAX用)

入力	確認	入金	備考

オープンカレッジ希望講座名

申込日：令和 8 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
01	出雲大社の歴史	26,000 円
28	仮名(一)〈初級〉	30,000 円
		円

新規ご入会の方 ➡

※入会金は、29ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

入会金	円
合計	56,000 円

特別講座希望講座名

講座番号	講座名	受講料
01	日本神道史	13,000 円
		円
	合計	13,000 円

※特別講座のみご受講の場合は、オープンカレッジの入会金は必要ありません。

- 1) 申し込みの手順は28・29ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付 (PDF・JPEG) をしてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者 (オープンカレッジ現会員) がいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名	紹介者 会員番号
-------	-------------

申込書の送り方 (FAX送信等) について

- 1) このページを切り取り、直接FAX (申込書と払込取扱票を切り離す前) してください。
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 申し込み後、直ちに受講料等を郵便局またはゆうちょ銀行ATMよりお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付 (PDF・JPEG) をして申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

表と裏の向き (送信面) は合っていますか？

FAX 03-5466-0394
e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

00	東京	払込取扱票	
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 0 1 6 0 5 6 0 3 4 0 1		¥ 6 9 0 0 0	
国学院大学エクステンションセンター		料金	備考
※ オープンカレッジ			
会員番号 新規 20 × × × × × × × ×		会員区分 ①・2・3・4・5・6・7	
〒252-0206			
住所 神奈川県相模原市中央区淵野辺五丁目977番地75			
フリガナ コクガク タロウ			
氏名 國學 太郎			
TEL 042-xxxx-xxxx (090-xxxx-xxxx)			
e-mail kokugaku@xxxx.jp			
生年月日 昭和・平成 年 月 日生			
裏面の注意事項をお読みください。 (ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)			
これより下部には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	金額
0 0 1 6 0 5 6 0 3 4 0 1	¥ 6 9 0 0 0
国学院大学エクステンションセンター	
おなまえ	
ご依頼人	
(自費払込)	
料金	円
備考	

入会金は新規に入会される方のみお支払いください。

紹介者がいらっしゃる場合はご記入ください。

全て記入し下半分 (払込取扱票) を切り取らない状態でFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・2・3以外の方は添付書類が必要です。その後郵便局等で振込をお願いします。

オープンカレッジ会員の方は会員番号 (8桁) を記入、新規の方は新規に○を付けてください。

同姓同名の方がいらっしゃいますのでご記入ください。

急な連絡のために必要となりますので携帯電話をお持ちの方は併せてご記入ください。

下半分を切り離す前にFAXしてください。

切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。

國學院大學

オープンカレッジ・特別講座受講申込書(FAX用)

入力	確認	入金	備考

オープンカレッジ希望講座名

申込日：令和 8 年 月 日

講座番号	講 座 名	受 講 料
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

※入会金は、29ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

入 会 金	円
合 計	円

特別講座希望講座名

講座番号	講 座 名	受 講 料
		円
		円

※特別講座のみご受講の場合は、オープンカレッジの入会金は必要ございません。

合 計	円
-----	---

- 1) 申し込みの手順は28・29ページの「申し込み方法」をご覧ください。
 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)をしてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号									
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

申込書の送り方(FAX送信等)について

- 1) このページを切り取り、直接FAX(申込書と払込取扱票を切り離す前)してください。
 このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
 2) 申し込み後、直ちに受講料等を郵便局またはゆうちょ銀行ATMよりお振込ください。
 3) この申込書をメールに添付(PDF・JPEG)をして申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394

表と裏の向き(送信面)は合っていますか?

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払 込 取 扱 票																		
口座記号番号												金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1	※								
加入者名 國學院大學エクステンションセンター												料	備考							
※ オープンカレッジ																				
会員番号												会員区分								
新 規												1・2・3・4・5・6・7								
〒 住所												日 附 印								
フリガナ 氏名																				
TEL																				
e-mail																				
欄 生年月日 昭和・平成 年 月 日生																				

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第55517号)

これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
※								
ご依頼人	おなまえ						様	
料 金	(消費税込み)						日 附 印	
備考	円							

この受領証は、大切に保管してください。

85円切手を貼って
投函してください

郵便はがき

85円切手
をお貼り
ください

1 5 0 8 4 4 0

東京都渋谷区東4-10-28
國 學 院 大 學
エクステンションセンター行

個人情報保護シール

個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、
はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



下
半
分
を
切
り
離
す
前
に
F
A
X
し
て
く
だ
さ
い

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

渋谷キャンパス

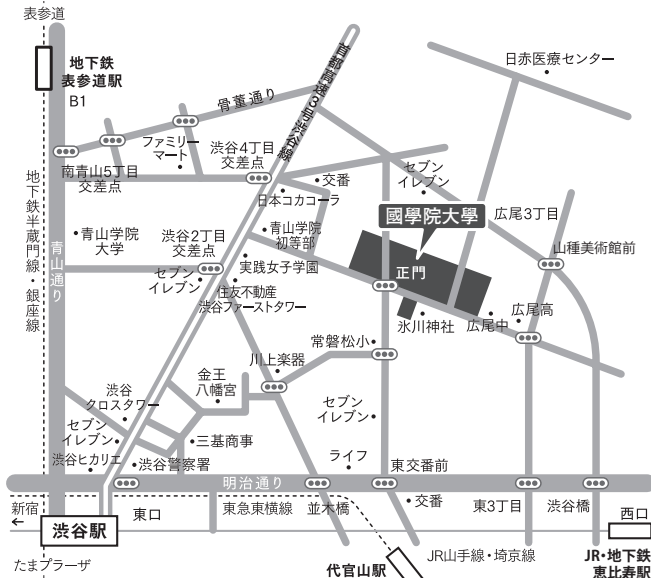
案内図

所在地

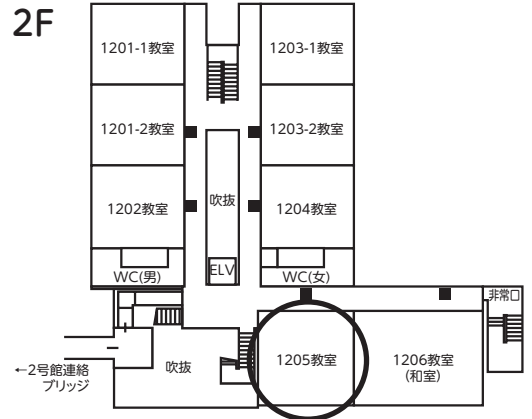
●〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

渋谷駅からのアクセス

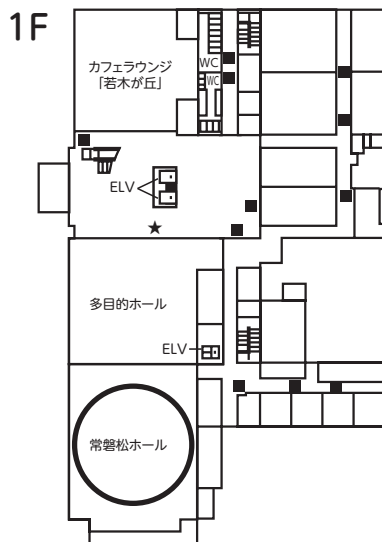
- 渋谷駅 (JR各線・地下鉄各線・東急各線・京王井の頭線) から徒歩約13分
- 渋谷駅 (JR各線) 新南口から徒歩約10分
- 都営バス (渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行)
「国学院大学前」または「東四丁目」下車 (運賃180円・IC178円)



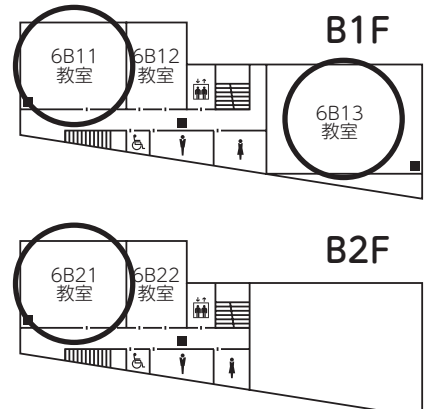
120周年記念1号館



学術メディアセンター棟



総合学修館(6号館)



■消火器
★AED



國學院大學エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0270

FAX 03-5466-0394

E-mail jigyoku@kokugakuin.ac.jp